

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	職業指導						
科目区分	教職科目	単位数	2単位	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	教職必修						
担当者	羽野 繁行						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業と産業および経済社会の発展との関係について説明することができる。</li> <li>・職業観・勤労観にいて考察することができる。</li> <li>・「能力・適性」の伸長や自己概念の明確化について述べるができる。</li> <li>・進路指導(職業指導)の諸活動について説明することができる。</li> <li>・高卒者の職業生活移行についての現状と課題について述べるができる。</li> </ul>						
日程と内容	<p>4/11 第1回:(1)授業の進め方、講義概要、成績評価法の説明 (2)職業指導の成立</p> <p>4/18 第2回:現代における職業指導の役割と課題(その1)</p> <p>4/25 第3回:現代における職業指導の役割と課題(その2)</p> <p>5/2 第4回:現代における職業指導の役割と課題(その3)</p> <p>5/9 第5回:高校生の進路実態(その1)</p> <p>5/16 第6回:高校生の進路実態(その2)</p> <p>5/23 第7回:高校生の進路実態(その3)</p> <p>5/30 第8回:高等学校における就職指導システム(その1)</p> <p>6/6 第9回:高等学校における就職指導システム(その2)</p> <p>6/13 第10回:高等学校における就職指導システム(その3)</p> <p>6/20 第11回:職業学科における職業指導</p> <p>6/27 第12回:商業高校における進路指導 ー就職指導の具体的取り組みと就職状況の推移ー</p> <p>7/4 第13回:(1)インターンシップの具体的事例(2)職業指導から進路指導へ、進路指導からキャリア教育へ</p> <p>7/11 第14回:(1)学校教育におけるキャリア教育の位置づけ (2)高等学校におけるキャリア教育の実践</p> <p>7/18 第15回:定期試験</p> <p>7/25 第16回:(1)キャリア・カウンセリングの実際 (2)キャリア教育の課題と展望 (3)講義全般</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	15%	プレゼンテーション				
	課題		授業への参加度	15%			
	演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	シラバスにおいて示しておいた内容について計画どおり説明することができた。職業と産業および経済社会の発展と関係、職業観・勤労観、進路指導(職業指導)の諸活動については理解できたと考える。また、「能力・適性」の伸長や自己概念の明確化については、概念としては理解させることができたと考えるが、今後様々な社会経験を積む中で、さらに各自が考えてくれることを期待している。						
反省点	教職科目の受講生には、少なくとも教師を志すからにはそれなりの心構えを望みたい。後期は、別の科目を担当するが、最後の10分間、その時間の要点を各自に書かせることにより、毎回の授業においてその都度、押さえるべきところをしっかりと押さえられるようにしたい。						
来年度の計画	来年度は出講することを考えていない。これからの長い人生を支える基盤となる貴重な学生生活、学生諸君には積極的な気持で講義に臨み、何かひとつでもしっかりしたものをつかみ取って欲しいと願っている。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業を受ける態度については、度々厳しく注意した。授業に興味を持っていないという受講生がいたのかもしれないが、真剣に講義に耳を傾け、発問に対して一緒に考えながら取り組んでくれた受講生もたくさんいたわけだから、真剣に取り組めなかった受講生も自分の受講態度を省みる必要があるのではないだろうか。少なくとも教師を志すからにはそれなりの心構えが欲しい。今後は最後の10分間、その時間の要点を各自に書かせるなど考えたい。						
履修登録者数	24名	定期試験 受験者数	24名	合格者数	22名	合格率	92%